

年代の定点

令和8年

7月18日(土) - 9月6日(日)

開館時間: 午前10時～午後5時(入館受付は午後4時30分まで)

休館日: 毎週月曜日(7月20日(月・祝)は開館、21日(火)は休館)

入館料: 一般600円(480円)/65歳以上・高校生・大学生460円(370円)

()内は20名様以上の団体料金、中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方(介助者1名を含む)は無料



1. 方格規矩四神鏡/紫金山古墳(京大考古学研究室保管) 2. 三角縁神獣鏡/鴨都波1号墳(御所市教育委員会)



学芸員として展示解説や講座を行っているとき、「この資料はいつ製作されたのか」という質問を頻繁に受けます。本展では、こうした素朴な疑問に答えることを出発点としつつ、考古資料に対する年代決定のしくみを解説し、年代決定の「定点」となっている資料を網羅的に展示することで、日本列島における、弥生時代の終わりから奈良時代に至る約500年間のタイムスケールを、様々な考古遺物から描き出します。

関連イベント

◎講演会「考古学と『年代』」

第1回 7月19日(日)

「年輪年代学と考古学 一研究の基礎と可能性」

前田 仁暉氏(岡山大学文明動態学研究所 助教)

第2回 8月9日(日)

「須恵器編年と年代の定点」

山田 邦和氏(同志社女子大学現代社会学部 特任教授)

第3回 8月23日(日)

「飛鳥・奈良時代の土器編年と年代」

小田 裕樹氏(奈良文化財研究所 企画調整部 展示公開活用研究室 室長)

時間:午後1時30分~3時 会場:博物館地階ホール 定員:150名 受講料:500円

※事前申し込みは不要です。 ※午前10時より受付にて整理券を配布します。

◎土曜講座 7月18日(土)

「考古資料から紐解く500年間の定点」 飯塚 信幸(当館学芸員)

時間:午後2時~3時 会場:博物館地階ホール 定員:150名 受講料:無料

◎近つ・弥生〈交換〉講演会

8月1日(土) 会場:大阪府立弥生文化博物館ホール・サロン

「考古遺物の年代はどのようにして決まるのか」

一近つ博夏季企画展のみどころ一

飯塚 信幸(当館学芸員)

時間:午後2時~3時30分 定員:130名 受講料:無料(別途入館料が必要です)

8月2日(日) 会場:近つ飛鳥博物館地階ホール

「弥生時代像をみなおす 一弥生博春夏季企画展のみどころ一」

三好 玄氏(大阪府立弥生文化博物館 学芸総括)

時間:午後1時30分~3時 定員:150名 受講料:無料

◎学芸員による展示解説

7月25日(土)、8月2日(日)、8月15日(土)、9月5日(土)

時間:午後1時30分~2時(8月2日は午前11時~11時30分) 会場:地階特別展示室 定員:なし

◎ワークショップ「桜コースターで年輪を読もう」

8月11日(火・祝)

時間:午後1時30分~3時30分 会場:博物館ロビー 参加料:無料(ただし、入館手続きが必要です)

※同時参加は6組まで、順次交代 ※材料が無くなり次第終了します。



須恵器/宇治市街遺跡(宇治市教育委員会)

鉄道・バス案内図

近鉄長野線喜志駅または富田林駅下車。バス「近つ飛鳥博物館前」行き終点下車、徒歩600m。大阪阿部野橋駅から河内長野駅行き準急利用で、喜志駅まで約30分です。



道路案内図

高速道路利用の場合は、大阪方面からは羽曳野ICが、橿原方面からは太子ICの利用が便利です。



各種イベントの文字通訳、場内誘導、車いす席の確保等についてサポートをご希望の方は、【開催日の3日前】までにお知らせください。ご要望内容を検討のうえ、できる限りの対応を取らせていただきます。

2026
4.25 SAT
8.30 SUN

大阪府立弥生文化博物館 令和8年度 春夏季企画展

リビジット

Revisit

弥生文化:発見と研究の現在地

●アスカディア・古墳の森

大阪府立近つ飛鳥博物館

OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM

〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
TEL. 0721-93-8321 FAX. 0721-93-8325

<https://chikatsu-asuka.jp>

指定管理者: AKN 共同事業体